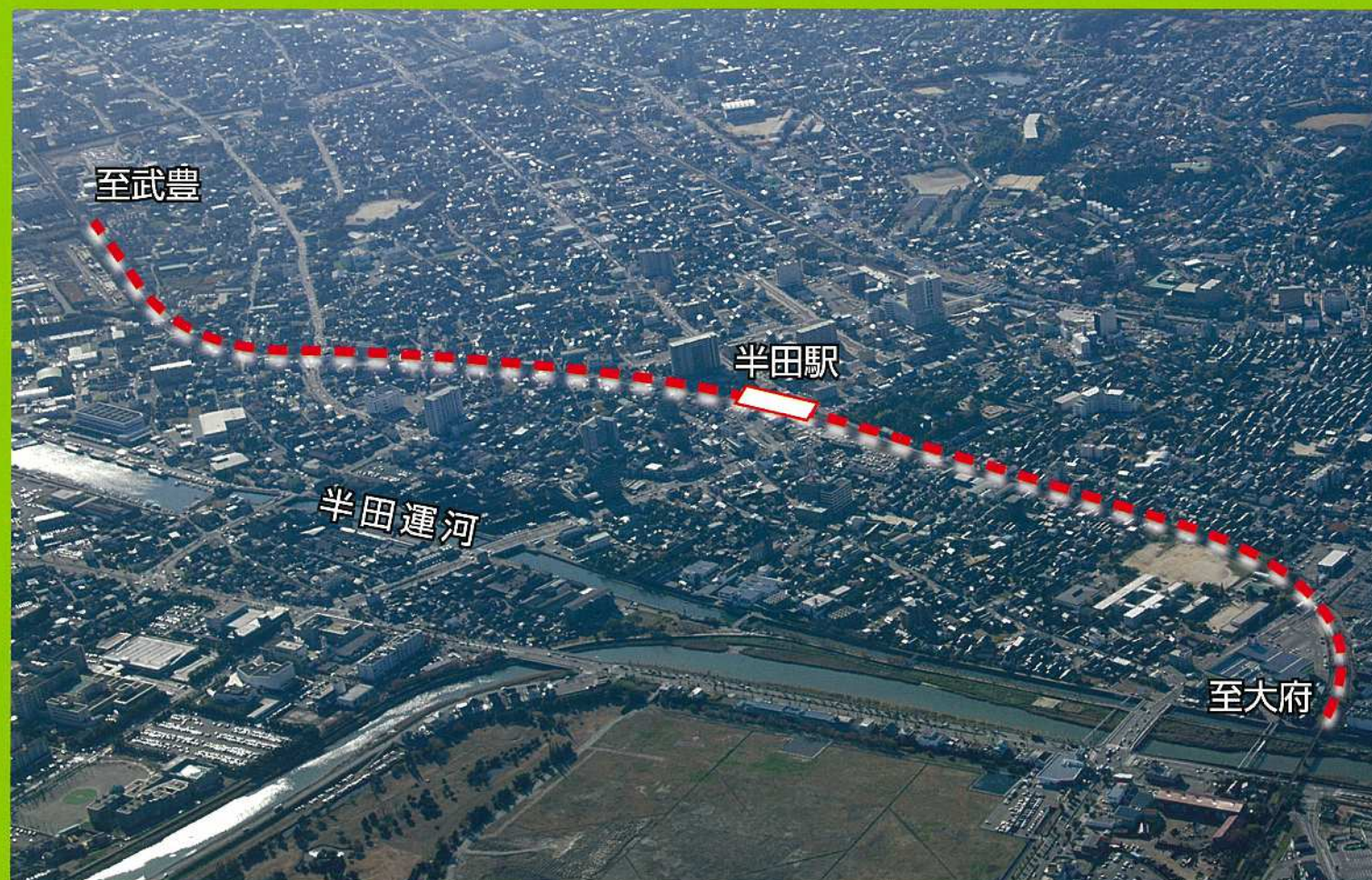


JR武豊線半田駅付近連続立体交差事業



半田駅仮駅舎



半田市観光
マスコットキャラクター
だし丸くん



半田駅(高架工事着手前)



高架工事状況(2025年10月)



新美南吉童話
イメージキャラクター
ごん吉くん



半田駅ホーム(高架工事着手前)

愛知県・半田市

事業計画の概要

- | | |
|---|--|
| ○施行者 / 愛知県 | ○事業経緯 / 平成16(2004)年度～平成18(2006)年度 事業調査(国庫補助) |
| ○都市計画事業の種類及び名称 / 知多都市計画 都市高速鉄道事業東海旅客鉄道武豊線 | 平成27(2015)年 7月 都市計画決定 |
| ○設計の概要 / 延長約2.6km | 平成28(2016)年11月 都市計画事業認可 |
| ○事業施行期間 / 平成28年度～令和12年度(予定) | 平成29(2017)年 9月 鉄道事業者との協定締結、用地買収着手 |
| ○除却踏切箇所数 / 9箇所 | 令和 2(2020)年度 仮線、仮駅舎工事着手 |
| ○交差道路(都市計画道路) / 5路線(うち新設2路線) | 令和 3(2021)年度 仮駅舎供用開始、高架本体工事着手 |
| ○交差道路(その他道路) / 7路線(うち新設1路線) | 令和 5(2023)年 1月 仮線切替 |
| ○施工方法 / 別線方式(一部仮線方式) | 令和 8(2026)年 1月 都市計画事業認可変更 |
| ○関連事業(市施行) / | |
| JR半田駅前土地区画整理事業(平成29年度～令和16年度(予定)) | |
| 高架側道整備事業(平成28年度～令和9年度(予定)) | |



※駅舎完成イメージ 出典:半田市

事業の効果

- 車や人の流れが円滑で安全になります**
 - 踏切がなくなり、新たな交差道路も整備されることで、円滑な道路交通が確保されます。
 - 踏切がなくなることで、踏切事故の心配がなくなります。
- 魅力あるまちづくりに貢献します**
 - 鉄道によって分断されていた駅周辺の市街地が一体となり、魅力あるまちの発展に大きく貢献します。
 - 土地区画整理事業や街路整備などの関連事業を一体的に実施することで、まちの総合的な整備が図られます。
- 高架下を有効に利用できます**
 - 新たに生み出される鉄道の高架下空間を、駐輪場や店舗などとして有効に利用できます。
- 鉄道沿線地域の環境が改善されます**
 - 渋滞の解消により、渋滞による自動車からの排出ガスが削減されます。
 - 軌道のロングレール化や側道の整備などにより、列車の騒音や振動が減少します。さらに、踏切警告音がなくなるなど、鉄道沿線地域の環境が改善されます。
- 駅のサービスが向上します**
 - 高齢者や障がいのある方をはじめ、鉄道を利用するすべての人の安全性や快適性に配慮した駅施設の改良(バリアフリー化)が実施されます。
 - 駅前広場の整備により、鉄道へのアクセス性が向上します。



踏切がなくなること、交通がスムーズになり、安全性が向上します

現在は各所で踏切渋滞が発生していますが、踏切がなくなることにより渋滞が解消されるとともに、通学路等の安全性が向上します。



区画整理事業と一体となって賑わいと魅力あるまちづくりを進めます

●市街地の分断の解消

鉄道を高架化するとともに、交差する都市計画道路等を整備することで、東西交通の円滑化が図られ、市街地の分断が解消されます。

●駅を中心とした市街地の再生

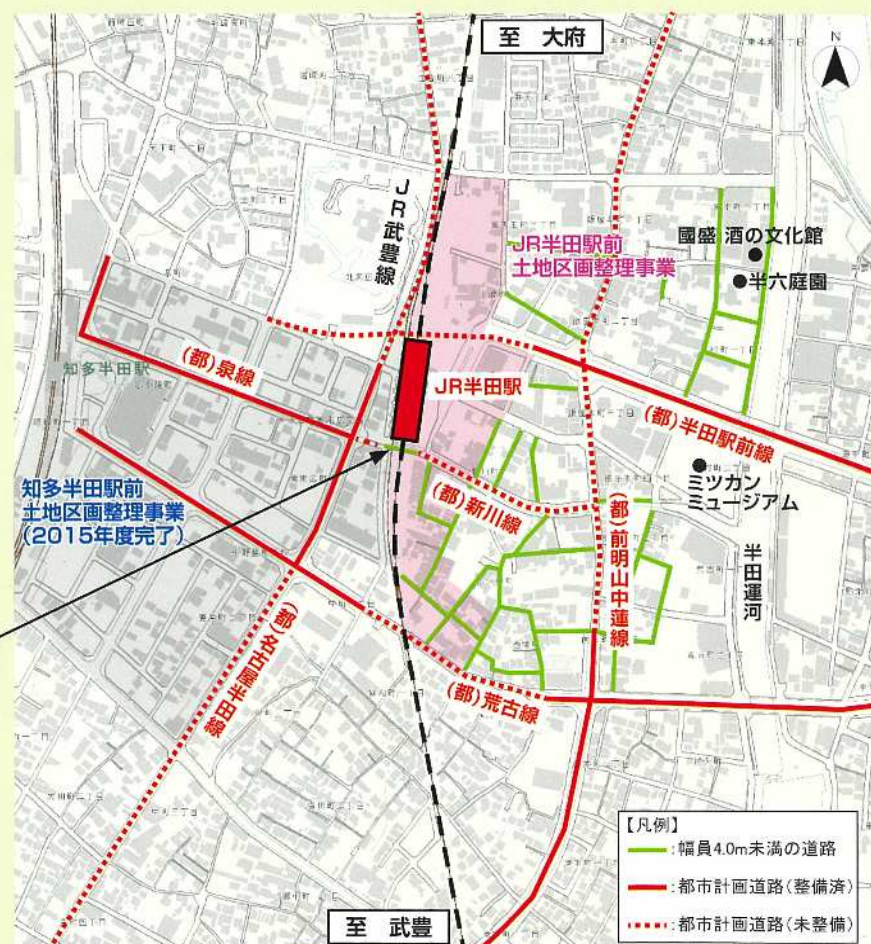
JR半田駅前に駅前広場や公園等の都市基盤を整備するとともに、地区計画等により適切な土地利用の誘導を図ることで、半田市の玄関口としてふさわしい快適で賑わいのあるまちづくりを進めます。

●歴史文化を活かしたまちづくり

醸造で栄えた半田の象徴である半田運河周辺の風情あるまちなみと連携した魅力あるまちづくりを進めます。



幅員狭小道路の現状
(幅員4.0m未満の道路)



JR半田駅周辺の道路の状況

出典:国土交通省 国土地理院地図を加工して作成

半田市の特色とまちづくり

JR武豊線は、東海道本線を早期に名古屋まで通すことを目的とし、建築資材を武豊港(今の衣浦港)から陸揚げし、運搬するために1886年(明治19年)3月1日に敷設された県内で最も古い路線で、同時に半田駅も開業しました。

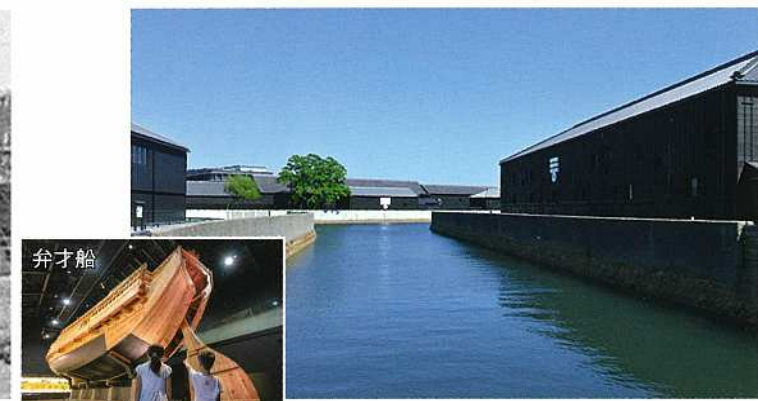
半田駅から東へ400mに位置する半田運河は、半田で古くから盛んに行われている酒や酢を中心とした醸造業の輸送拠点として、弁才船(江戸時代を中心に活躍した長さ約20メートルの大型木造船)などが通り、醸造品などを江戸などへと運んでいました。半田運河沿いは、醸造品や木綿などの産物を収めた黒板囲いの蔵が現在も残っており、当時の風情を今へと伝えています。また、歴史的な景観や周辺の半六庭園やミツカンミュージアム(MIM)を始めとする観光施設等の整備と官民連携した取組みが評価され、平成29年度には都市景観大賞の都市景観部門において大賞を受賞しました。

本事業に併せて実施しているJR半田駅前土地区画整理事業においては、半田市の特色である蔵のある風景を活かしながら、駅前にふさわしい賑わいのあるまちづくりを進めていきます。



明治45年～昭和初期の半田駅

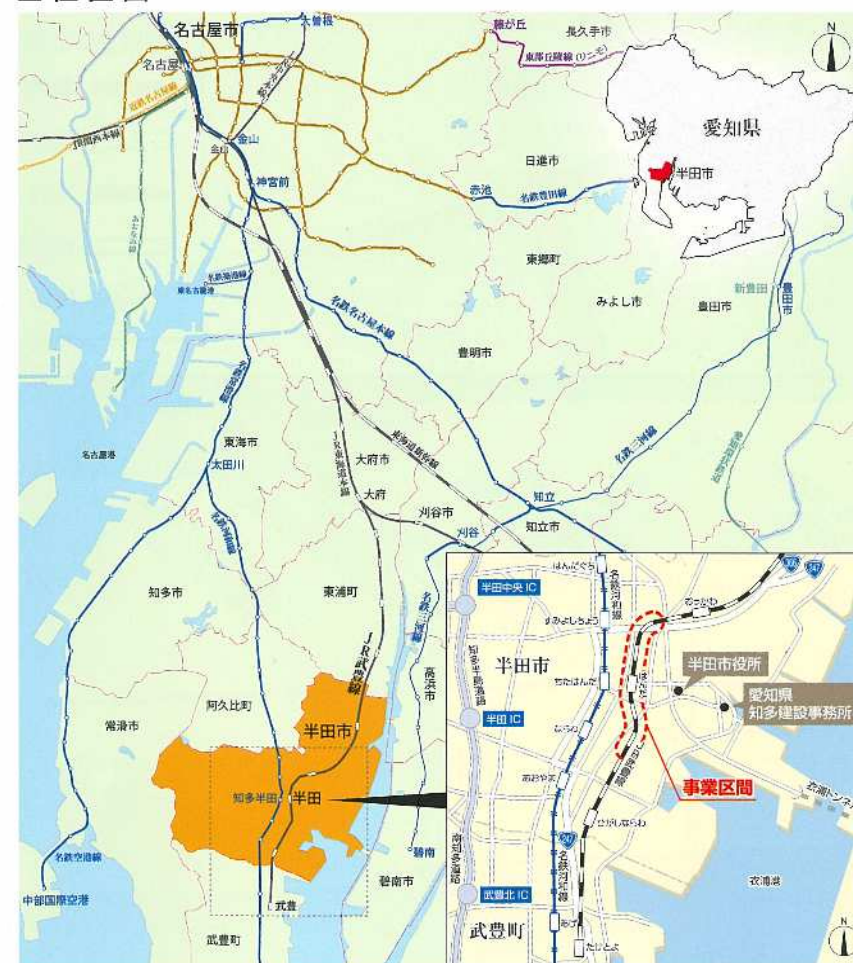
出典:半田市



半田運河の風景

出典:半田市

■位置図



■連続立体交差事業のお問い合わせ

愛知県
知多建設事務所 都市施設整備課
半田市瑞穂町二丁目2番地の1
TEL 0569-21-3314
FAX 0569-21-3232



愛知の花
「かきつばた」

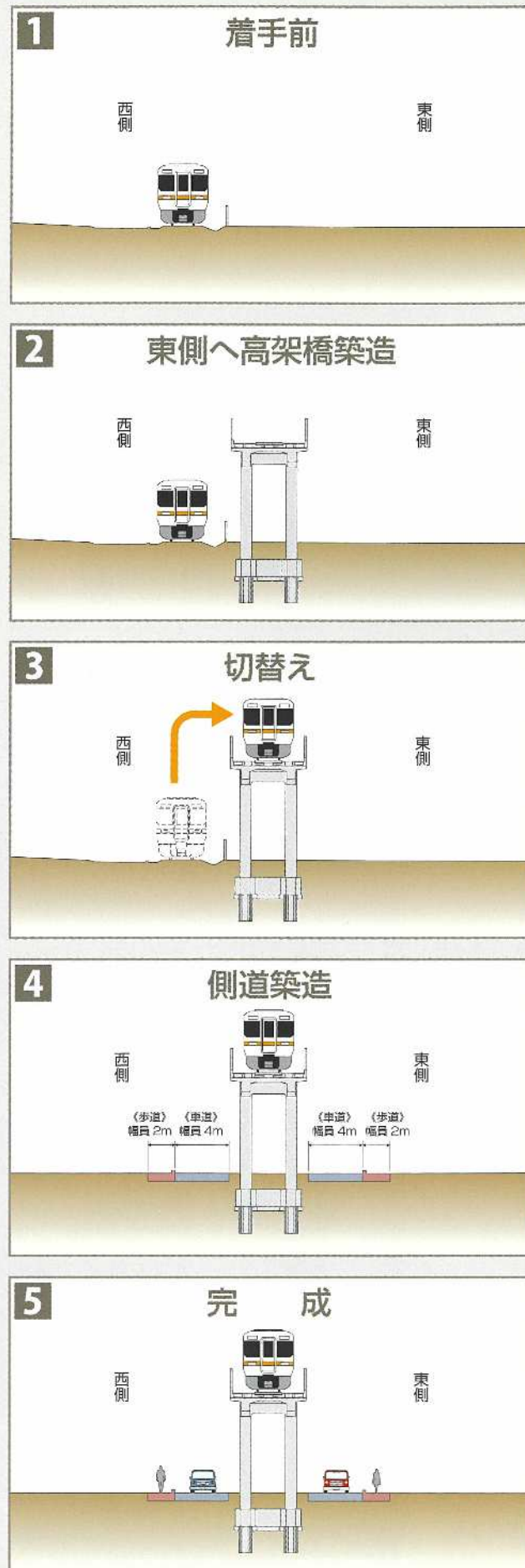
半田市
建設部 都市整備課
半田市東洋町二丁目1番地
TEL 0569-22-8851
FAX 0569-23-6061



半田の花
「さつき」

事業実施の方法

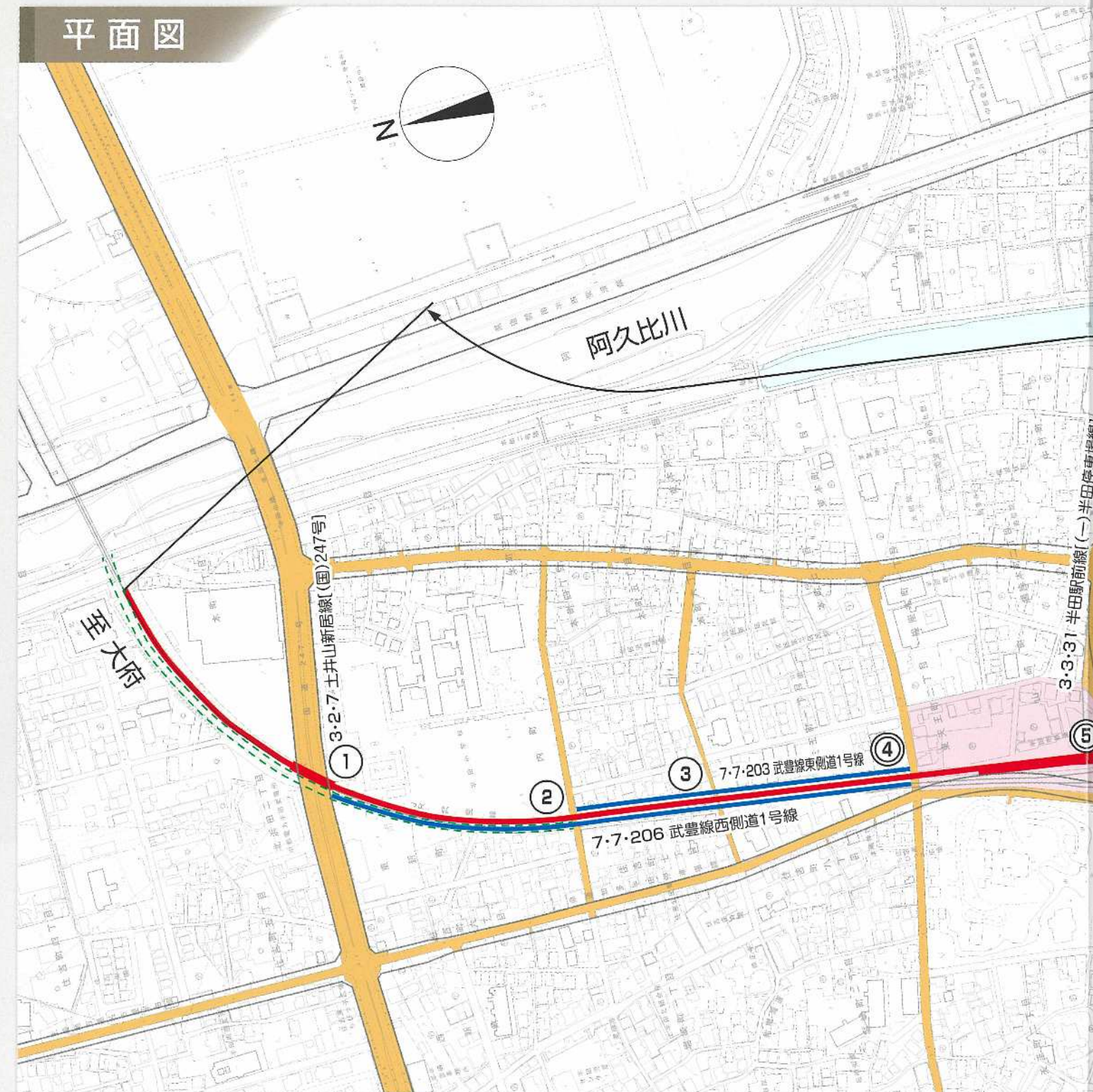
施工順序図



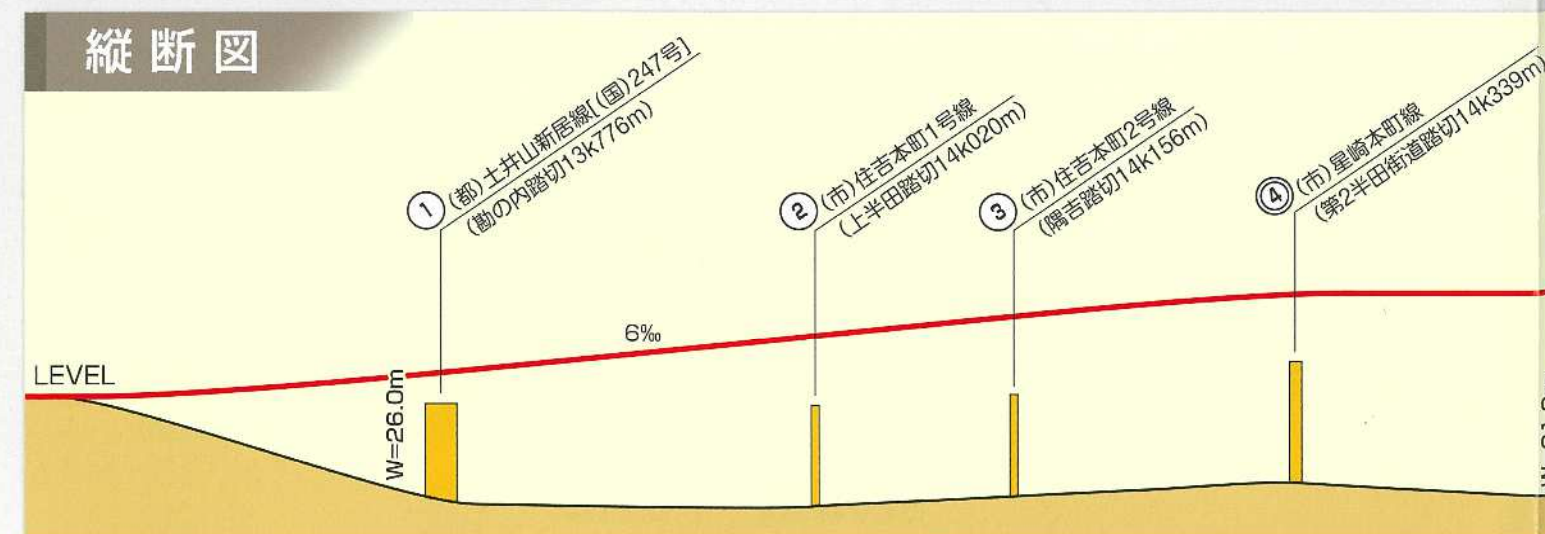
連続立体交差事業の流れ

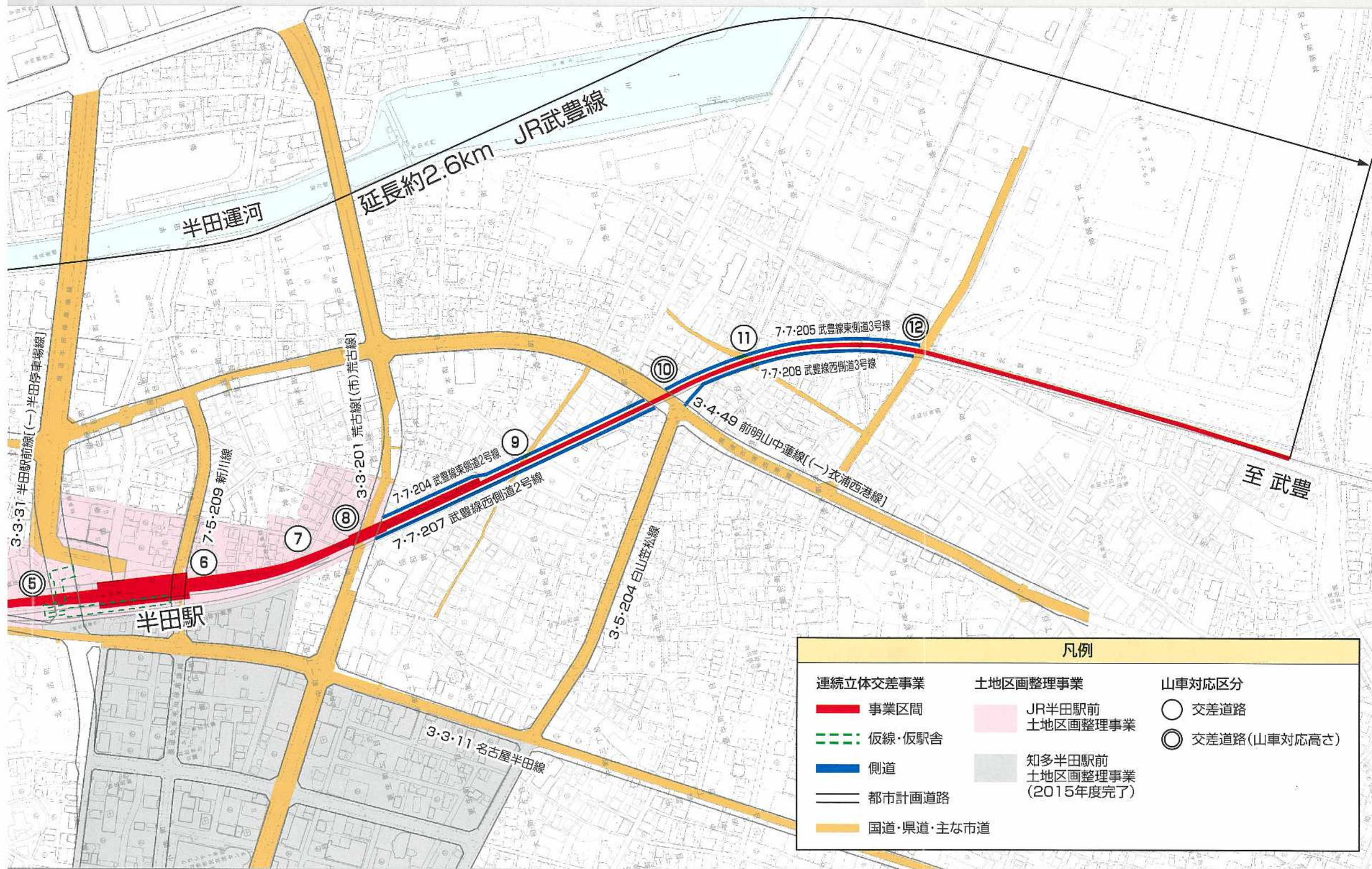


平面図

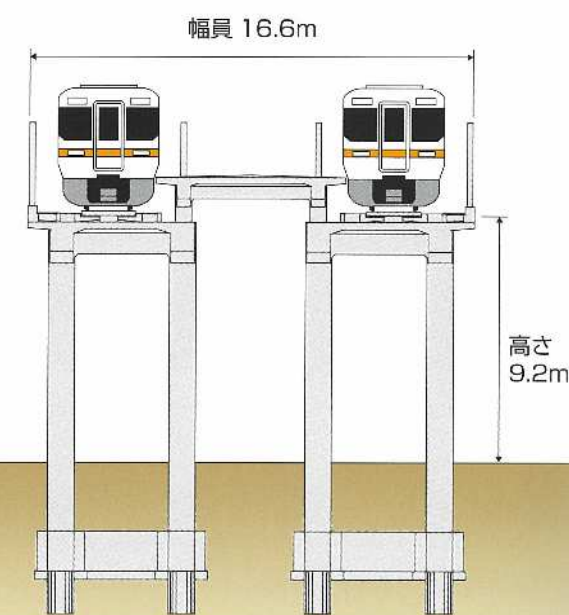


縦断図





高架橋駅部横断図



高架橋標準部横断図

